

平城宮第 161 次発掘調査現地説明会資料

1984年12月 8 日

奈良国立文化財研究所 平城宮跡発掘調査部
山岸 常 人

はじめに 平城宮跡発掘調査部は第161次調査として平城宮の推定第二次朝堂院の東第一堂の発掘調査を行ってきた。発掘面積は約3000㎡、調査は10月1日より開始し現在進行中である。

調査地は第二次大極殿地域の南東にあたり、残存土壇を中心に芝を張って朝堂の位置を表示する整備が行われていた。内裏地域・大極殿地域については従来の数次にわたる発掘調査で概要が明らかになっている。今回の調査は朝堂院の東第一堂の規模や変遷を明らかにすることを目的としている。

遺構 調査地は奈良山丘陵から南へのびる尾根上に位置し、東へ向って緩やかな傾斜で低くなっている。平城宮造営以前の地山（礫を多く含む赤褐色砂質土）の上に、七世紀前半の土器・円筒埴輪片を含む暗褐色砂質土及び黄褐色粘質土で整地をして平坦地を造成し建物が建てられている。遺構面上には直ちに水田の床土・耕土がおかれ、現地表下30cmで奈良時代の遺構面に至る。ただし朝堂推定位置には、大正13年及び昭和40年代の整備による土砂が50cmの厚さで積まれていた。

検出した遺構は第二次朝堂院東第一堂、その下層建物、朝堂院の東を画する築地等である。

東第一堂下層建物（SB01） 身舎桁行七間、梁行三間の四面に庇が廻る、即ち桁行総長九間、梁行総長五間の南北棟掘立柱建物である。柱間寸法は身舎梁行が各々9尺、その他は10尺、従って桁行総長は90尺、梁行総長は47尺である。柱径は一尺二寸。上層の東第一堂基壇土の残る部分ではこの柱の掘形は基壇の下に入り込んでおり、下層の建物と判明する。奈良時代前半の建物と考えられる。大極殿・後殿・閤門の調査でも下層に掘立柱建物及び塀が検出されており、それらと関連する遺構であろう。

東第一堂（SB02） 基壇をもつ建物であるが、基壇の大半は削平されてしまっている。残った南端部の基壇上に残る六ヶ所の礎石抜取穴、基壇北辺及び西辺外側の礫敷、西辺礫敷の三ヶ所に残る階段跡及び基壇外装の凝灰岩製地覆石の抜取痕跡から、東第一堂の建物及び基壇規模が判明した。建物は身舎桁行五間、梁行二間の四面に庇が廻る。身舎柱間は桁行・梁行とも13尺、庇の出は10尺、従って桁行総長85尺・

梁行総長46尺である。基壇の出は7尺。礎石は花崗岩、基壇外装は凝灰岩の切石を用いる。基壇外側の礫敷の外縁部には幅30cm・深さ10cmの礫をつめた溝をめぐらす。なお基壇東辺及び南辺は削平され不明。基壇高さは現存部分で1m。第二次大極殿・閤門の前に建ち並ぶ12棟の朝堂の一つにあたり、奈良時代後半の遺構である。なおSB02の基壇築成に際しては基壇周囲を約40cm削平している。従ってSB01の時代の地表面はSB02の時代の地表面より約40cm高かったことになる。

SB03 発掘区西端北寄りで検出した四間分の掘立柱列である。柱間は中央二間が10尺、両端が11尺。東西棟建物の東妻と考えられる。建物配置から考えてSB01と同時期の可能性があるがなお検討を要する。

SB04 発掘区西南端で検出した桁行六間以上、西庇のつく南北棟掘立柱建物である。建物の方位が北でわずかに東へふれており、奈良時代後半以降の建物と考えられる。

築地SA05 発掘区東側の土塁の下から検出された。基底部幅8尺。西側には幅50cmの雨落溝がある。

遺物 軒平瓦6663型式2点、6801型式1点、軒丸瓦6225型式9点、6311型式2点、鬼瓦1点がある。

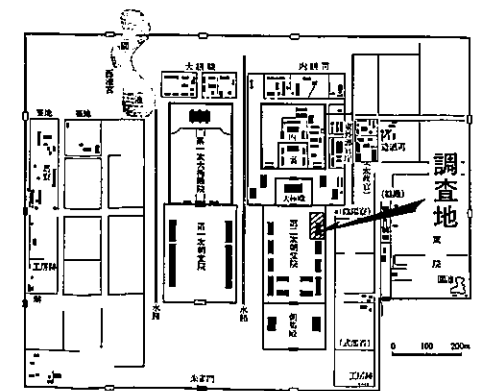
まとめ 今回の発掘調査から以下のような成果を収めることができた。

- (1) 第二次朝堂院の東第一堂の規模・形式が判明した。
- (2) 第二次朝堂院下層の建物の存在とその規模・形式が判明した。

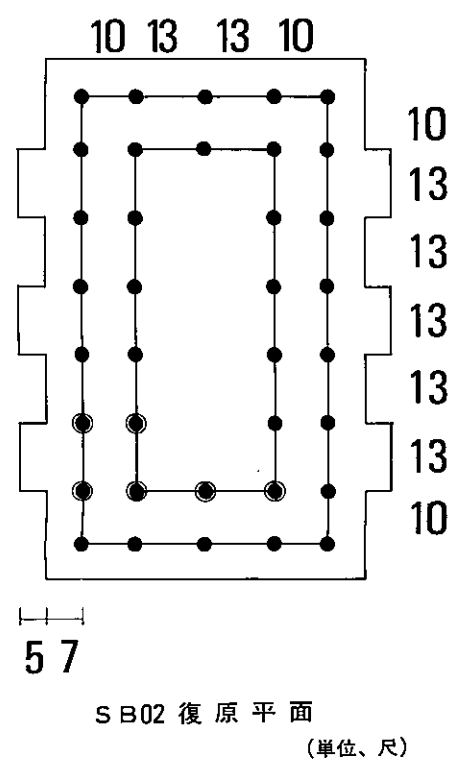
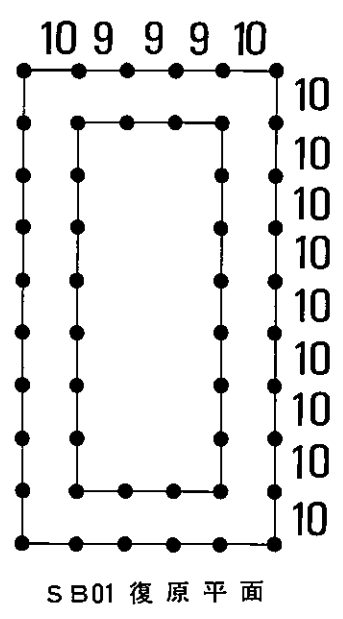
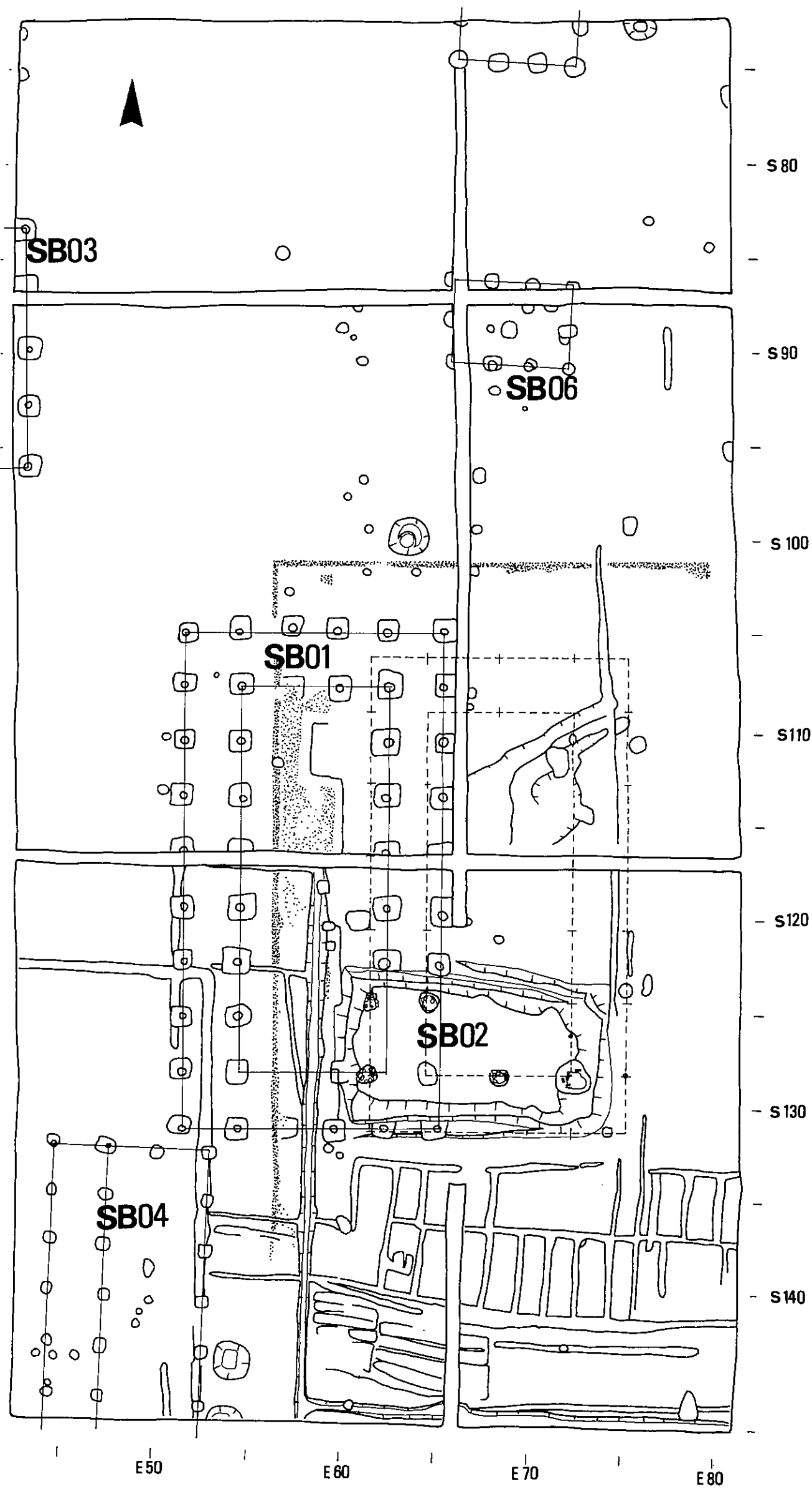
しかしながら今後に残された問題点も少なくない。

- (1) 下層掘立柱建物SB01・03は大極殿下層の建物群と一体となった区画を形成するが、その造営時期と性格について。
- (2) 上層朝堂の造営時期について。

等である。これらの問題については、藤原宮・難波宮等との比較、平城宮内の第一次大極殿・朝堂との対比、出土遺物や文献史料の検討を通して慎重に考えてゆかねばならない。今後の第二次朝堂院地区の発掘調査の進展をまって結論を出したい。

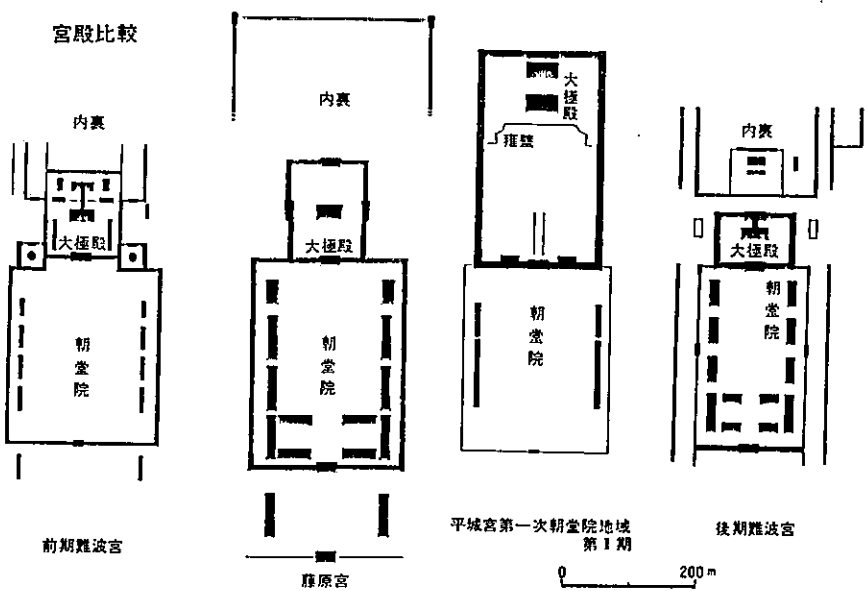


調査地位置図

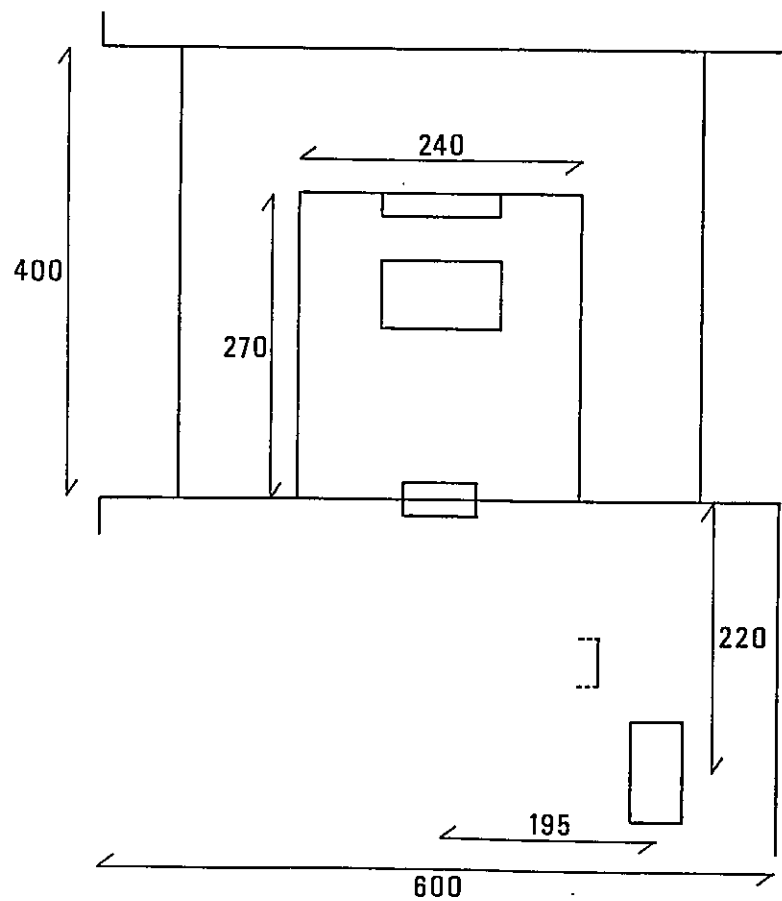
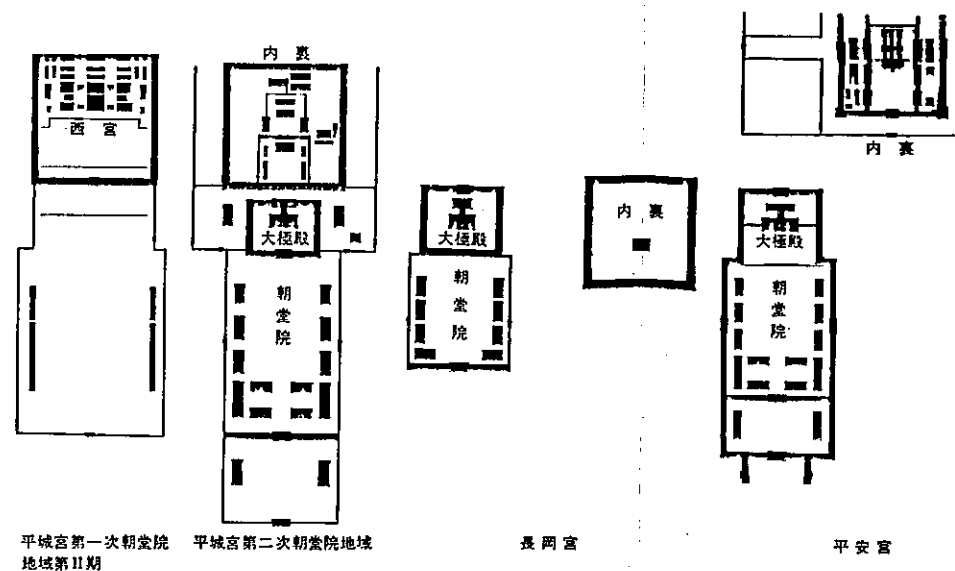


平城宮第161次發掘調查遺構圖

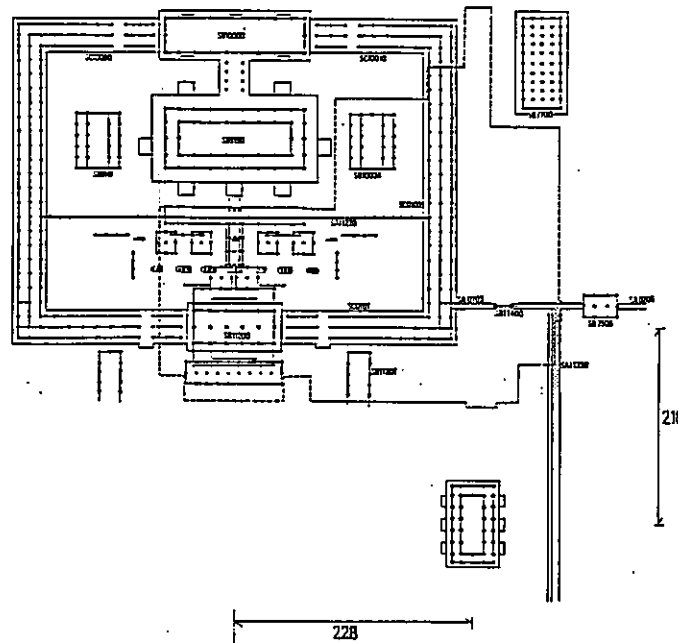
宮殿比較



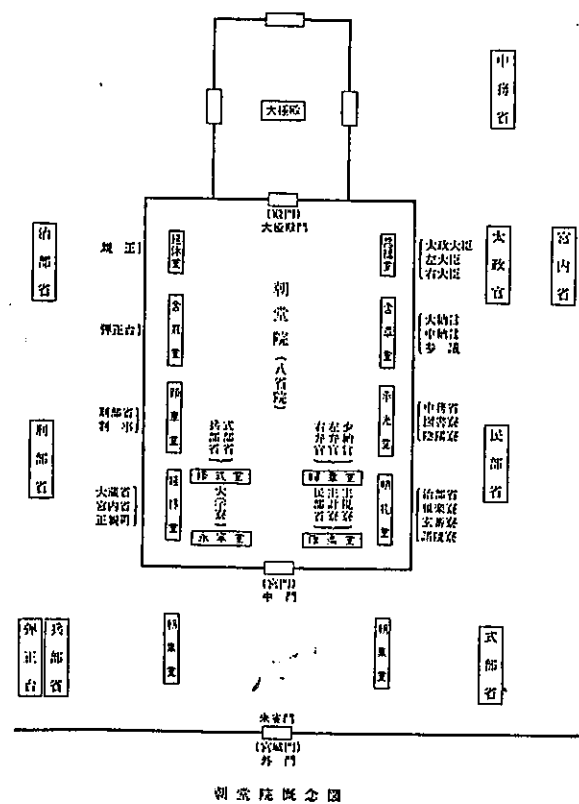
大極殿と朝堂院の変遷



下層掘立柱建物配置



上層礎石建物配置



平安宮における朝堂院